中小企業景況レポート

No.30　中栄信用金庫　地域支援部

2019年1月～3月実績と2019年4月～6月見込み

◆調査概要

調査時期	2019 年 3 月上旬
調査地域	秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市、開成町
調査企業数	347 社
回答企業数	328 社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	97	92	94.8
卸売業	29	27	93.1
小売・飲食業	61	57	93.4
サービス業	57	53	92.9
建設業	66	62	93.9
不動産業	37	37	100.0
合　計	347	328	94.5

◆1月～3月期の概況

～業況判断 D.I. は 3 期ぶりに悪化、先行きは慎重姿勢～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断 D.I. は 1.6 を示し、前回調査（2018 年 10 ～ 12 月期）に比べ 9.6 ポイントの悪化となりました。

これは幅広い業種において原材料費や人件費の負担感が増し、収益環境が悪化していることに加え、小売・飲食業における年末需要等の反動減や介護関連での稼働率の低下もみられたことから、売上額・収益 D.I. はマイナス域に転じ、全業種の景況感は 3 期ぶりの悪化となっております。今後については、海外情勢の不透明感への懸念や消費増税の動向、4 月より施行される年次有給休暇の取得義務化に向けた対応を課題とする企業が見受けられ、先行きの景況感は慎重な見方となっております。

項目別にみると、売上実績 D.I. は 17.4 ポイント悪化の▲2.4、収益実績 D.I. は 16.7 ポイント悪化の▲6.1 となっております。また、仕入価格 D.I. は 6.2 ポイント下降の 25.1、人手過不足 D.I. は 2.1 ポイント不足感が弱まり▲37.2、資金繰り D.I. は 2.0 ポイント悪化の▲13.7 となっております。また業種別の景況感は、卸売業が 9.6 ポイント改善の▲11.1、建設業が 5.1 ポイント改善の 24.2、小売・飲食業がほぼ横這いの▲10.7、不動産業が 17.3 ポイント悪化の 2.7、サービス業が 17.4 ポイント悪化の▲24.5、製造業が 25.4 ポイント悪化の 11.9 となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

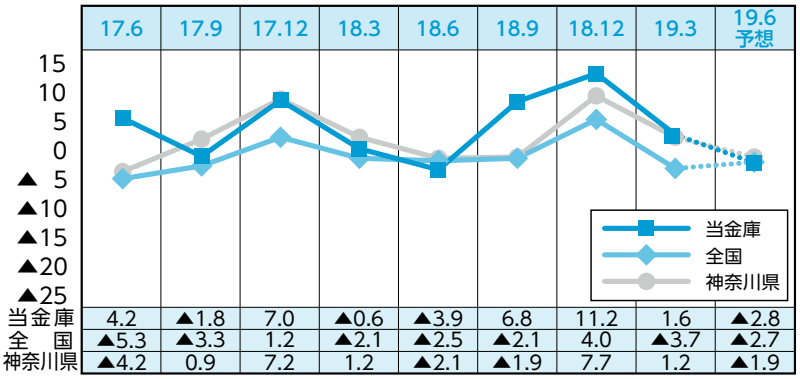
なお、全国の中小企業業況判断 D.I. は 7.7 ポイント悪化の▲3.7、神奈川県内については 6.5 ポイント悪化の 1.2 となっております。（全国と神奈川県の D.I. 値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

また特別調査においては、10 月に予定される消費増税対策の一環であるキャッシュレス決済時のポイント還元に関して、約 4 割の企業が既に導入または導入に前向きな回答を示していることから、消費者の利便性向上に向け、多様化する支払い手段に対応していく様子が見受けられます。

◆4月～6月期の見通し

来期の業況判断予想は、4.4 ポイント悪化の▲2.8、売上額 D.I. は 3.7 ポイント改善の 1.3、収益 D.I. は 1.9 ポイント小幅悪化の▲8.0 の予想となっております。

業況判断D.I. 値（全業種）



	17.6	17.9	17.12	18.3	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6 予想
当金庫	4.2	▲1.8	7.0	▲0.6	▲3.9	6.8	11.2	1.6	▲2.8
全　国	▲5.3	▲3.3	1.2	▲2.1	▲2.5	▲2.1	4.0	▲3.7	▲2.7
神奈川県	▲4.2	0.9	7.2	1.2	▲2.1	▲1.9	7.7	1.2	▲1.9

全国、神奈川県の業況判断 D.I. 値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約 16,000（うち神奈川県 約 480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I. 値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

業種別景気天気図

	前　期	今　期	予　想
総　合			
製 造 業			
卸 売 業			
小売・飲食業			
サービス業			
建 設 業			
不 動 産 業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 良い ← → 低調 悪い

製 造 業

●概　況

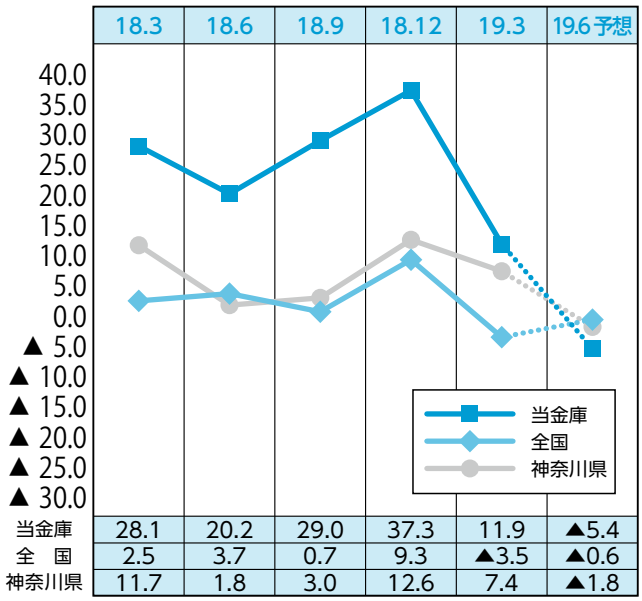
製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 25.4 ポイント悪化の 11.9 となりました。項目別では、売上額 D.I. は 22.3 ポイント悪化の 5.4、収益 D.I. は 26.6 ポイント悪化の▲5.4 となっております。

総じて受注を確保する企業は見受けられるものの、原材料高や人件費増加による収益環境の悪化に加え、一部では海外情勢の不透明感を危惧する企業も見受けられることから、景況感は過去最高値であった前回調査に比べ、3 期ぶりの悪化に至ったものと思われます。また深刻な人手不足とともに、4 月から施行される年次有給休暇の取得義務化に向けた対応も課題となる中、今後の施策として機械化の推進を挙げる企業が増加し、生産性向上に努める動きもみられます。

なお、全国は 12.8 ポイント悪化の▲3.5 となっており、神奈川県は 5.2 ポイント悪化の 7.4 となっております。

来期の予想業況判断については、17.3 ポイント悪化の▲5.4 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.3	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6予想
当金庫	28.1	20.2	29.0	37.3	11.9	▲5.4
全　国	2.5	3.7	0.7	9.3	▲3.5	▲0.6
神奈川県	11.7	1.8	3.0	12.6	7.4	▲1.8

売上額

				D.I.
前期実績	43.6	40.5	15.9	27.7
当期実績	33.6	38.2	28.2	5.4
来期予想	26.0	48.0	26.0	0.0
前年同期比	36.2	30.9	32.9	3.3

収益

				D.I.
前期実績	38.2	44.8	17.0	21.2
当期実績	25.0	44.6	30.4	▲5.4
来期予想	18.6	47.4	34.0	▲15.4
前年同期比	27.1	42.5	30.4	▲3.3

販売価格

				D.I.
前期実績	10.6	83.1	6.3	4.3
当期実績	8.6	82.8	8.6	0.0
来期予想	9.7	81.7	8.6	1.1

原材料価格

				D.I.
前期実績	35.8	64.2		35.8
当期実績	31.5	66.4	2.1	29.4
来期予想	23.9	75.1	1.0	22.9

在庫

				D.I.
前期実績	6.4	88.3	5.3	1.1
当期実績	8.6	87.1	4.3	4.3
来期予想	6.5	89.2	4.3	2.2

資金繰り

				D.I.
前期実績	17.0	65.0	18.0	▲1.0
当期実績	18.4	59.9	21.7	▲3.3
来期予想	14.1	67.5	18.4	▲4.3

人手

				D.I.
前期実績	2.1	56.5	41.4	▲39.3
当期実績	3.2	52.3	44.5	▲41.3
来期予想	6.5	56.2	37.3	▲30.8

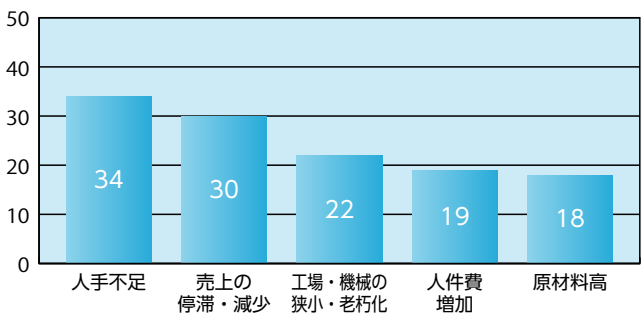
設備状況

				D.I.
前期実績	72.1	27.9		▲27.9
当期実績	1.1	67.9	31.0	▲29.9
来期予想	68.7	31.3		▲31.3

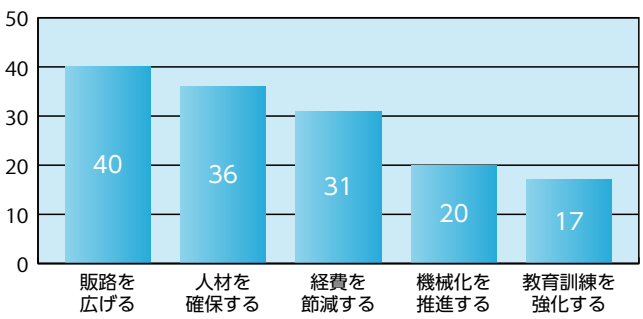
当期実績…2019 年　1～　3 月期
来期予想…2019 年　4～　6 月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



卸 売 業

●概　況

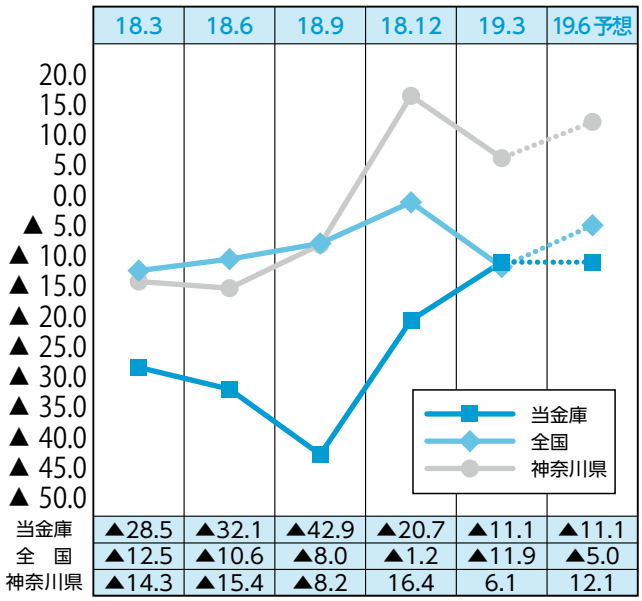
卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 9.6 ポイント改善の▲11.1 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 21.9 ポイント悪化の▲18.5、収益 D.I. は 25.4 ポイント悪化の▲18.5 となっております。

建設業における堅調な受注状況が、一部の建材卸の業況改善に寄与したものの、経営上の問題点として、仕入先からの値上げ要請や小口注文・多頻度配送を挙げる企業が増加し、収益の確保に苦慮する様子もみられることから、景況感はマイナス域で推移しております。また一部企業においては、競争力強化に向け、品揃えの充実に努める動きや顧客ニーズに対し、迅速に対応できる人材の育成に注力する動きもみられます。

なお、全国は 10.7 ポイント悪化の▲11.9 となっており、神奈川県は 10.3 ポイント悪化の 6.1 となっております。

来期の予想業況判断については、横這いの▲11.1 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.3	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6予想
当金庫	▲28.5	▲32.1	▲42.9	▲20.7	▲11.1	▲11.1
全　国	▲12.5	▲10.6	▲8.0	▲1.2	▲11.9	▲5.0
神奈川県	▲14.3	▲15.4	▲8.2	16.4	6.1	12.1

売上額

				D.I.
前期実績	34.4	34.6	31.0	3.4
当期実績	18.5	44.5	37.0	▲18.5
来期予想	7.4	51.9	40.7	▲33.3
前年同期比	25.9	40.8	33.3	▲7.4

収益

				D.I.
前期実績	37.9	31.1	31.0	6.9
当期実績	14.8	51.9	33.3	▲18.5
来期予想	7.4	51.9	40.7	▲33.3
前年同期比	11.1	51.9	37.0	▲25.9

販売価格

				D.I.
前期実績	20.6	69.1	10.3	10.3
当期実績	22.2	66.7	11.1	11.1
来期予想	11.1	74.1	14.8	▲3.7

仕入価格

				D.I.
前期実績	44.8	48.4	6.8	38.0
当期実績	40.7	51.9	7.4	33.3
来期予想	29.6	63.0	7.4	22.2

在庫

				D.I.
前期実績	10.3	82.9	6.8	3.5
当期実績	11.1	81.5	7.4	3.7
来期予想	14.8	77.8	7.4	7.4

資金繰り

				D.I.
前期実績	6.8	58.8	34.4	▲27.6
当期実績	11.1	59.3	29.6	▲18.5
来期予想	7.4	55.6	37.0	▲29.6

人手

				D.I.
前期実績	3.4	55.3	41.3	▲37.9
当期実績	7.4	48.2	44.4	▲37.0
来期予想	7.4	66.7	25.9	▲18.5

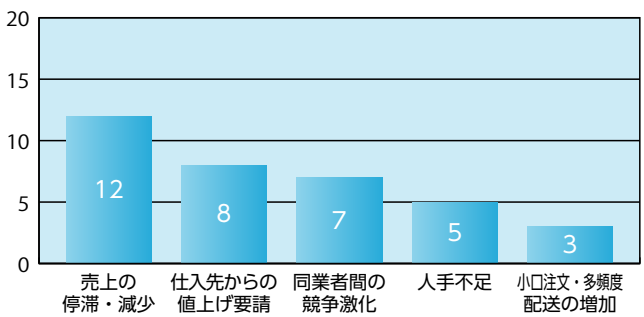
設備状況

				D.I.
前期実績	3.4	82.9	13.7	▲10.3
当期実績	3.7	81.5	14.8	▲11.1
来期予想	3.7	85.2	11.1	▲7.4

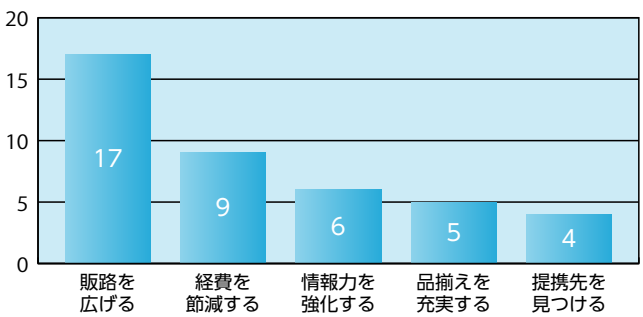
当期実績…2019 年　1～　3月期
来期予想…2019 年　4～　6月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



小売・飲食業

●概　況

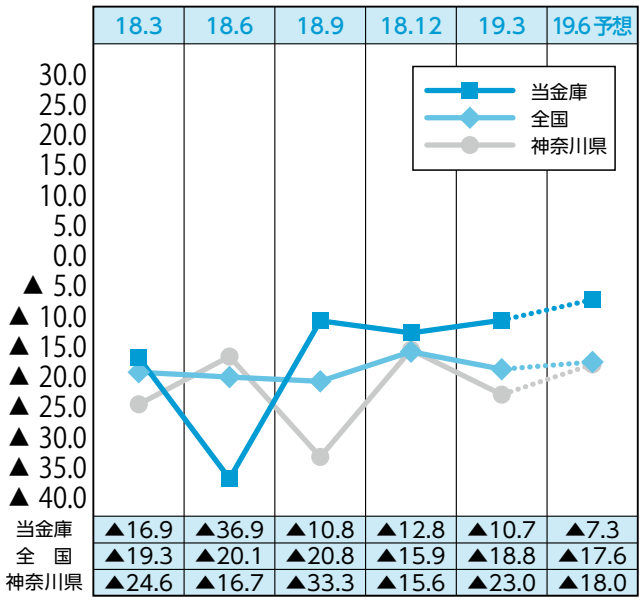
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査からほぼ横這いの▲10.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 22.9 ポイント悪化の▲17.5、収益 D.I. は 19.5 ポイント悪化の▲14.1 となっております。

年末需要や季節需要等の反動減に加え、最低賃金改定に伴う人件費負担の増加や仕入価格上昇分の価格転嫁に苦慮する様子もみられることから、売上額・収益 D.I. は悪化となり、景況感は横這い圏内での推移となっております。また厳しい収益環境の中、不採算店舗の撤退や業態変更を進める企業がみられるとともに、ホームページ、SNS等を活用したタイムリーな情報発信に努める企業も見受けられます。

なお、全国は 2.9 ポイント悪化の▲18.8 となっており、神奈川県は 7.4 ポイント悪化の▲23.0 となっております。

来期の予想業況判断については、3.4 ポイント改善の▲7.3 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.3	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6予想
当金庫	▲16.9	▲36.9	▲10.8	▲12.8	▲10.7	▲7.3
全　国	▲19.3	▲20.1	▲20.8	▲15.9	▲18.8	▲17.6
神奈川県	▲24.6	▲16.7	▲33.3	▲15.6	▲23.0	▲18.0

売上額

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	29.0	47.4	23.6	5.4
当期実績	21.0	40.5	38.5	▲17.5
来期予想	29.8	43.9	26.3	3.5
前年同期比	22.8	50.9	26.3	▲3.5

収益

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	27.2	51.0	21.8	5.4
当期実績	19.2	47.5	33.3	▲14.1
来期予想	22.8	49.2	28.0	▲5.2
前年同期比	19.2	45.8	35.0	▲15.8

販売価格

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	18.1	71.0	10.9	7.2
当期実績	10.5	82.5	7.0	3.5
来期予想	14.0	79.0	7.0	7.0

仕入価格

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	27.2	63.8	9.0	18.2
当期実績	28.0	68.5	3.5	24.5
来期予想	22.8	75.5	1.7	21.1

在庫

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	10.9	83.7	5.4	5.5
当期実績	8.7	84.3	7.0	1.7
来期予想	5.2	89.6	5.2	0.0

資金繰り

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績	9.0	65.6	25.4	▲16.4
当期実績	10.5	56.2	33.3	▲22.8
来期予想	8.7	63.3	28.0	▲19.3

人手

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績		60.0	40.0	▲40.0
当期実績	7.0	58.0	35.0	▲28.0
来期予想	3.5	69.8	26.7	▲23.2

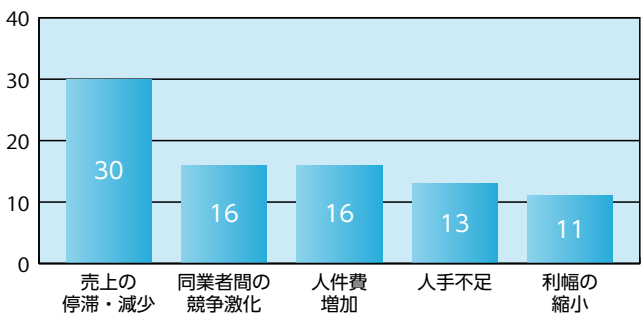
設備状況

	良い・増加・上昇 過剰・楽	普通・変わらず 適正	悪い・減少・下降 不足・苦しい	D.I.
前期実績		87.1	12.9	▲12.9
当期実績	1.7	86.1	12.2	▲10.5
来期予想	1.7	84.3	14.0	▲12.3

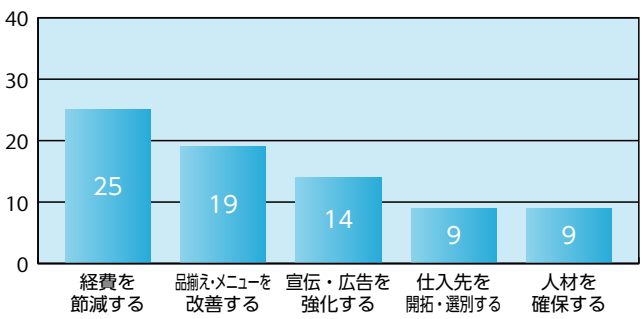
当期実績…2019年　1～　3月期
来期予想…2019年　4～　6月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



サービス業

●概　況

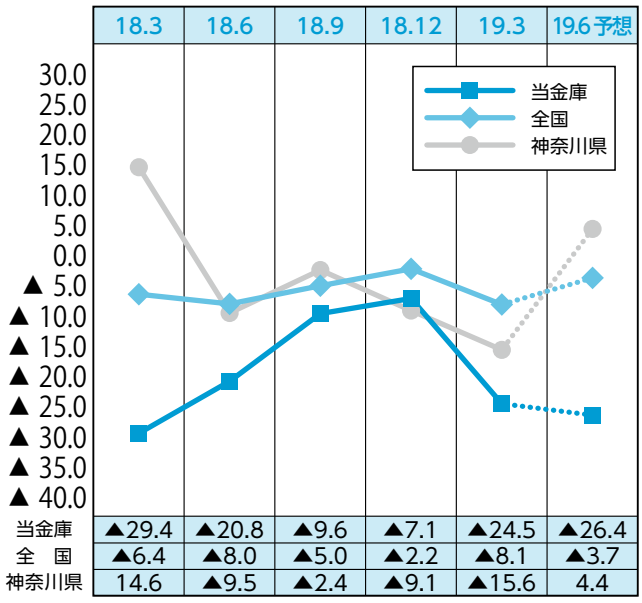
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 17.4 ポイント悪化の▲24.5 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 25.7 ポイント悪化の▲13.2、収益 D.I. は 24.3 ポイント悪化の▲18.9 となっております。

これは幅広い分野で人手不足や人件費の増加に苦慮する様子が見受けられることに加え、一部の介護事業においては、稼働率の低下とともに介護報酬の改定に伴う単価引き下げ分をカバーしきれない企業もみられることから、売上額・収益 D.I. はマイナス域に転じ、景況感は4期ぶりの悪化となっております。また一部の介護事業では、関連多角化により、経営の安定化に努める企業も見受けられます。

なお、全国は 5.9 ポイント悪化の▲8.1 となっており、神奈川県は 6.5 ポイント悪化の▲15.6 となっております。

来期の予想業況判断については、1.9 ポイント小幅悪化の▲26.4 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.3	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6予想
当金庫	▲29.4	▲20.8	▲9.6	▲7.1	▲24.5	▲26.4
全　国	▲6.4	▲8.0	▲5.0	▲2.2	▲8.1	▲3.7
神奈川県	14.6	▲9.5	▲2.4	▲9.1	▲15.6	4.4

売上額

				D.I.
前期実績	41.0	30.5	28.5	12.5
当期実績	22.6	41.6	35.8	▲13.2
来期予想	32.0	36.0	32.0	0.0
前年同期比	30.1	43.5	26.4	3.7

収益

				D.I.
前期実績	35.7	34.0	30.3	5.4
当期実績	16.9	47.3	35.8	▲18.9
来期予想	26.4	43.5	30.1	▲3.7
前年同期比	15.0	54.9	30.1	▲15.1

料金価格

				D.I.
前期実績	14.5	80.1	5.4	9.1
当期実績	9.6	77.0	13.4	▲3.8
来期予想	3.8	86.6	9.6	▲5.8

材料価格

				D.I.
前期実績	36.3	63.7		36.3
当期実績	25.0	73.1	1.9	23.1
来期予想	25.0	71.2	3.8	21.2

資金繰り

				D.I.
前期実績	14.2	50.1	35.7	▲21.5
当期実績	3.8	61.6	34.6	▲30.8
来期予想	5.7	57.8	36.5	▲30.8

人手

				D.I.
前期実績	1.7	57.3	41.0	▲39.3
当期実績	11.3	47.2	41.5	▲30.2
来期予想	7.5	47.3	45.2	▲37.7

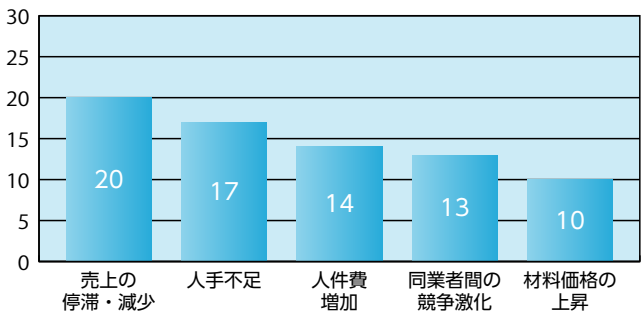
設備状況

				D.I.
前期実績	3.7	72.3	24.0	▲20.3
当期実績	5.6	69.9	24.5	▲18.9
来期予想	5.7	69.3	25.0	▲19.3

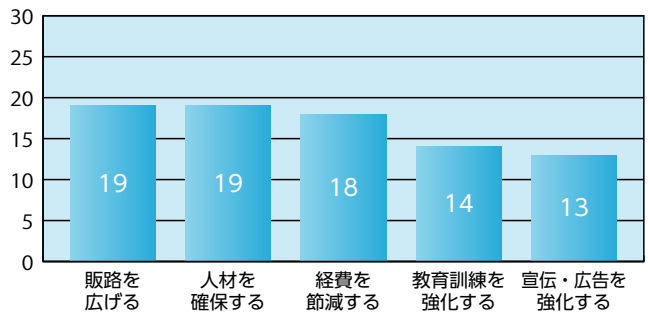
当期実績…2019年　1～　3月期
来期予想…2019年　4～　6月期

良い、増加、上昇、過剰、楽　／　普通、変わらず、適正　／　悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



建 設 業

●概　況

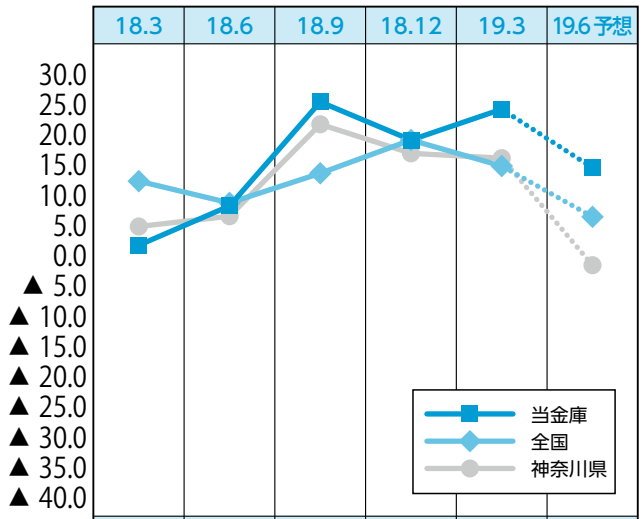
建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 5.1 ポイント改善の 24.2 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査 4.6 ポイント悪化の 14.5、収益 D.I. は 6.6 ポイント改善の 12.9 となっております。

人手不足や外注先の確保難により、建築コストの上昇が続く中、請負価格 D.I. は 12.8 ポイント上昇の 6.5 となるほか、一部では、消費増税に伴う住宅の造成工事受注獲得の動きや売掛金の回収期間短縮による資金繰り改善の動きもみられることから、景況感は改善に至ったものと思われます。しかし一部企業においては、建設資材不足に伴い、工期遅れが生じていることから、適正な工期の確保を課題とする企業も見受けられます。

全国は 4.3 ポイント悪化の 14.8 となっており、神奈川県はほぼ横這いの 16.1 となっております。

来期の予想業況判断については、9.7 ポイント悪化の 14.5 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.3	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6予想
当金庫	1.7	8.2	25.4	19.1	24.2	14.5
全　国	12.3	8.7	13.6	19.1	14.8	6.4
神奈川県	4.8	6.5	21.7	16.9	16.1	▲1.6

売上額

				D.I.
前期実績	36.5	46.1	17.4	19.1
当期実績	37.0	40.5	22.5	14.5
来期予想	22.5	63.0	14.5	8.0
前年同期比	36.0	41.1	22.9	13.1

収益

				D.I.
前期実績	26.9	52.5	20.6	6.3
当期実績	29.0	54.9	16.1	12.9
来期予想	17.7	61.4	20.9	▲3.2
前年同期比	22.9	57.5	19.6	3.3

請負価格

				D.I.
前期実績	7.9	77.9	14.2	▲6.3
当期実績	16.1	74.3	9.6	6.5
来期予想	13.1	75.5	11.4	1.7

材料価格

				D.I.
前期実績	39.6	60.4		39.6
当期実績	30.6	69.4		30.6
来期予想	32.2	64.6	3.2	29.0

在庫

				D.I.
前期実績	7.9	90.6	1.5	6.4
当期実績	4.9	93.5	1.6	3.3
来期予想	3.2	93.6	3.2	0.0

資金繰り

				D.I.
前期実績	7.9	68.3	23.8	▲15.9
当期実績	12.9	61.3	25.8	▲12.9
来期予想	11.2	69.5	19.3	▲8.1

人手

			D.I.
前期実績	42.9	57.1	▲57.1
当期実績	45.2	54.8	▲54.8
来期予想	50.9	49.1	▲49.1

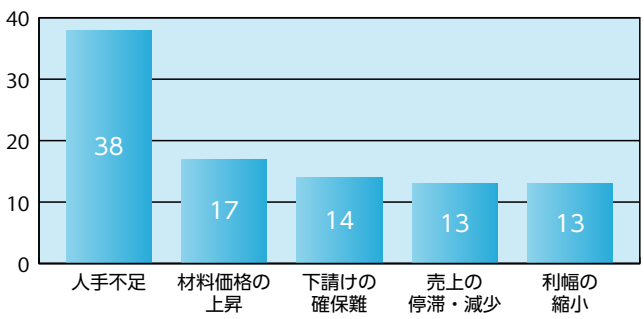
設備状況

				D.I.
前期実績	1.5	92.2	6.3	▲4.8
当期実績		93.3	6.7	▲6.7
来期予想		91.4	8.6	▲8.6

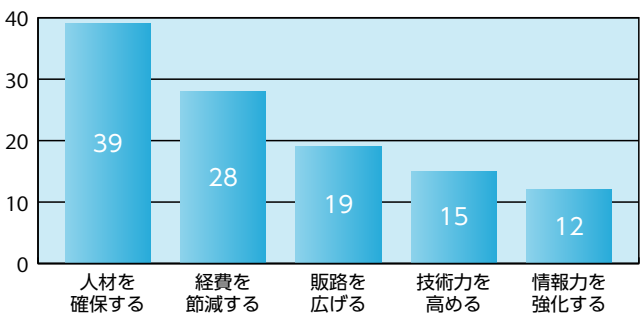
当期実績…2019 年　1～　3 月期
来期予想…2019 年　4～　6 月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



不動産業

●概　況

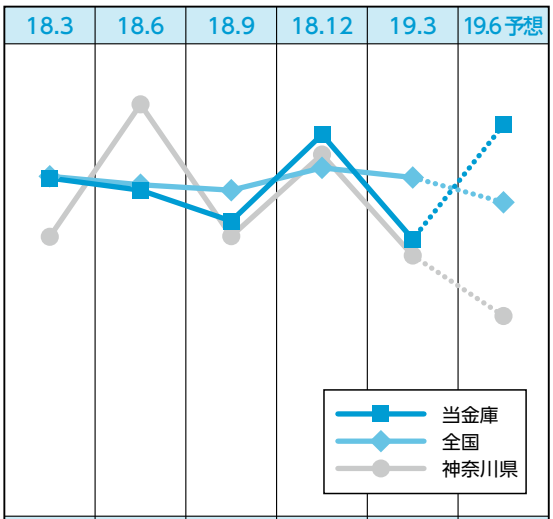
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 17.3 ポイント悪化の 2.7 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 2.8 ポイント悪化の 0.0、収益 D.I. は 8.6 ポイント悪化の 0.0 となっております。

消費増税に向けた住宅取得支援策が講じられ、消費者の動向を踏まえた商品仕入れの動きが一部でみられるものの、商品販売が旺盛だった前回調査に比べ、売上額・収益 D.I. は悪化となり、景況感は悪化に至ったものと思われます。また一部企業においては、生産緑地の指定解除を見据え、土地所有者の売却動向などの情報収集を強化する動きがみられます。

全国は 1.6 ポイント小幅悪化の 12.9 となっており、神奈川県は 16.7 ポイント悪化の 0.0 となっております。

来期の予想業況判断については、18.9 ポイント改善の 21.6 となっております。

●業況判断 D.I. 値



	18.3	18.6	18.9	18.12	19.3	19.6予想
当金庫	12.8	10.8	5.7	20.0	2.7	21.6
全　国	13.1	11.7	10.8	14.5	12.9	8.8
神奈川県	3.1	25.0	3.2	16.7	0.0	▲10.0

売上額

				D.I.
前期実績	25.0	52.8	22.2	2.8
当期実績	18.9	62.2	18.9	0.0
来期予想	29.7	56.8	13.5	16.2
前年同期比	10.8	64.9	24.3	▲13.5

収益

				D.I.
前期実績	20.0	68.6	11.4	8.6
当期実績	16.2	67.6	16.2	0.0
来期予想	27.0	56.8	16.2	10.8
前年同期比	16.2	62.2	21.6	▲5.4

販売価格

				D.I.
前期実績	2.8	77.2	20.0	▲17.2
当期実績	2.7	83.8	13.5	▲10.8
来期予想	10.8	73.0	16.2	▲5.4

仕入価格

				D.I.
前期実績	17.1	77.2	5.7	11.4
当期実績	8.1	86.5	5.4	2.7
来期予想	16.2	75.7	8.1	8.1

在庫

				D.I.
前期実績	8.5	48.7	42.8	▲34.3
当期実績	5.4	51.4	43.2	▲37.8
来期予想	10.8	43.3	45.9	▲35.1

資金繰り

				D.I.
前期実績	11.1	80.6	8.3	2.8
当期実績	5.4	89.2	5.4	0.0
来期予想	10.8	81.1	8.1	2.7

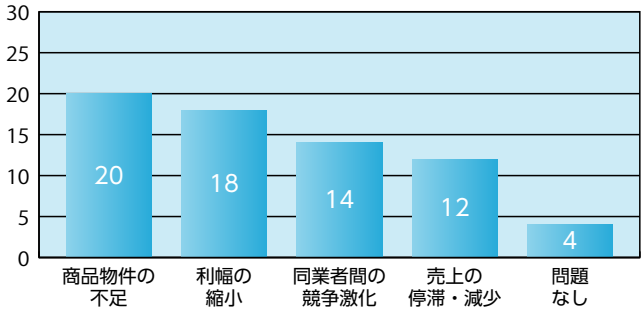
人手

				D.I.
前期実績	2.7	86.2	11.1	▲8.4
当期実績	78.4		21.6	▲21.6
来期予想	78.4		21.6	▲21.6

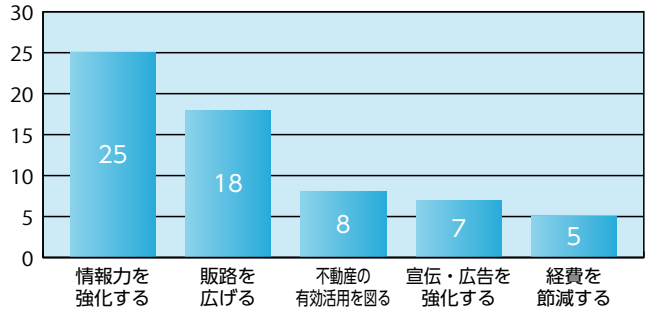
当期実績…2019 年　1～　3月期
来期予想…2019 年　4～　6月期

良い、増加、上昇 過剰、楽　／　普通、変わらず 適正　／　悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点（複数回答）



当面の重点経営施策（複数回答）



特別調査「中小企業におけるインターネット利用とキャッシュレスへの対応について」

当金庫のお客様 347 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問 1．貴社では、事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。1 つ選んでお答えください。また、同様に事業上で電子メールを利用していますか。1 つ選んでお答えください。

インターネットの利用

○ 利用しており、自社ホームページも開設 …	196 社
○ 利用しているが、自社ホームページは未開設 …	89 社
○ 利用していないが、今後利用したい ……	17 社
○ 利用することは考えていない ……	32 社

電子メールの利用

○ 利用している ……	264 社
○ 利用していないが、今後利用したい ……	18 社
○ 利用することは考えていない ……	34 社

問 2．貴社では、インターネットバンキングを利用していますか。利用している方は、利用している主な理由を 1 つ選んでお答えください。利用していない方は、利用していない主な理由を 1 つ選んでお答えください。

利用している

○ 社内全体の IT 化・事務負担軽減……	45 社
○ 金融機関の店舗に行く必要がない ……	41 社
○ 残高管理が容易である ……	33 社
○ 夜間や休日でも利用できる ……	30 社
○ 金融機関職員から勧められた ……	12 社

利用していない

○ 利用する機会がない ……	59 社
○ セキュリティに不安がある ……	40 社
○ 金融機関職員が訪問するから不要 ……	37 社
○ パスワード管理等操作が面倒 ……	22 社
○ インターネット利用環境がない ……	6 社

問 3．2019 年 10 月予定の消費税引き上げにあたって、政府はキャッシュレス決済をすればポイント還元することを検討しています。こうしたキャッシュレス決済を推進する政府の姿勢に対して、貴社ではキャッシュレス決済についてどのような対応を考えていますか。1 つ選んでお答えください。

○ 既に導入している ……	52 社
○ 導入予定である ……	13 社
○ 現在、導入を検討している ……	22 社
○ 今後、導入を検討したい ……	44 社
○ 導入する必要がない ……	82 社
○ そもそも関心がない・関係がない ……	53 社
○ わからない ……	59 社

問 4．貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用していますか。主に活用しているキャッシュレス支払手段を 3 つ以内で選んでお答えください。

○ 活用していない・関係ない ……	136 社
○ クレジットカード ……	109 社
○ 口座振替（自動引落）サービス ……	109 社
○ 電子記録債権（でんさい等）……	37 社
○ スマートフォンによる QR コード決済 ……	20 社
○ 電子マネー（交通系・流通系）……	19 社
○ デビットカード ……	12 社
○ プリペイドカード ……	4 社
○ スマートフォンによるバーコード収納 ……	2 社
○ デジタル通貨（地域電子通貨・仮想通貨）……	0 社

問 5．貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、今後ともさらに活用していきたい、もしくは今後活用をしたいと考えているキャッシュレス支払手段はありますか。3 つ以内で選んでお答えください。

○ まったく関心がない・関係がない ……	137 社
○ クレジットカード ……	82 社
○ 口座振替（自動引落）サービス ……	67 社
○ スマートフォンによる QR コード決済 ……	53 社
○ 電子マネー（交通系・流通系）……	29 社
○ 電子記録債権（でんさい等）……	24 社
○ スマートフォンによるバーコード収納 ……	14 社
○ デビットカード ……	13 社
○ デジタル通貨（地域電子通貨・仮想通貨）……	2 社
○ プリペイドカード ……	2 社

先端設備等導入計画のご紹介

中小企業者等の生産性向上のため、新たな設備投資を支援する「生産性向上特別措置法」が施行されました。中小企業者等が、設備投資を通じて労働生産性の向上を図る「先端設備等導入計画」を市町村に提出し、認定されることにより、以下のメリットを受けられるのが特徴です。

① **新たに取得した設備投資について、固定資産税を最大 3 年間ゼロ＊**

＊課税標準を市町村の条例で定める割合（ゼロ～ 1/2）を乗じて得た額

対象者：資本金 1 億円以下の中小企業者、個人事業主

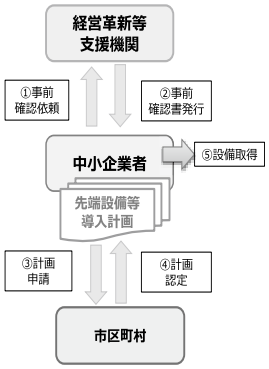
対象設備：機械装置、測定工具及び検査工具、器具備品　など

要件：基準年度比で労働生産性が年平均 3%以上向上すること　など

② **補助金における優先採択**

ものづくり・サービス補助金、持続化補助金等にて加点措置

当金庫では、経営革新等支援機関として計画策定のサポートをいたします。



出典：中小企業庁「先端設備等導入計画について」